

防災塾・だるま

新会員募集

マルチハザードの時代に対応した防災情報の共有化と人的ネットワークの構築

地形写真撮影: 塾長 鷲山

神奈川県を見渡す美しい風景。しかし、ここは1923年関東大震災の激震地であり、この風景の横浜地域（当時）が壊滅した歴史を私たちは伝承すべきです。迫り来る巨大地震や風水害等、多様な災害の実態を理解し、それを克服できる防災力の向上を目指して多くの皆様と共に進みたいと思います。

「防災塾・だるま」とは

神奈川大学工学部の荏本孝久教授（現名誉教授・本会名誉塾長）は、若き日より地震被災地で現地調査した研究実績と、阪神淡路大震災の実体験から、「防災・減災の情報を共有して、災害に備える知恵と工夫を地域に根付かせていきたい。」との理念を掲げ、市民への神奈川大学公開講座を行いました。「防災塾・だるま」は、この講座を受講して、理念に賛同した市民が中心となり、荏本教授を塾長として2006年から活動を開始・開塾した市民団体。2021年度から鷲山龍太郎を塾長として活動しています。

「防災塾・だるま」の目的

本会は、あらゆる防災活動を通じて会員相互の防災力向上を図るとともに、防災に関わる情報共有化のためのネットワークを構築し、地域社会の防災まちづくりに貢献することを目的とします。



新時代の多様な災害課題に対して「自助・共助・公助」の連携から防災まちづくりを展望します。



多様な専門家による講演会で最新の防災情報を共有します。



多様な地域の人々、専門家とのネットワークが本会の強みです。

会員特典

- ★「防災塾・だるま」の防災講演会「防災まちづくり談義の会」（隔月）など最新情報をメール配信します。
- ★会員は、防災講演会等の Zoom 設定情報 を予め受け取ることができます。
- ★情報満載の「防災塾・だるま通信」等が発行されると、メールで配信されます。
- ★ご自身が関心のある「自助」「共助」「自助・共助・公助の連携」「時事防災課題」の「防災サロン」に参加し、課題意識の近い人と、学んだり、親睦を深めたりすることができます。

「防災塾・だるま」の事業

- (1) 防災まちづくりに関する情報の収集及び調査研究
- (2) 会員相互の防災まちづくりに関する知識向上のための情報交換会又は意見交換会の開催
- (3) 防災まちづくりに関する講座またはイベント等の開催
- (4) 他の機関・団体等の防災まちづくりに関する講座やイベント等への支援、共同企画並びに運営等
- (5) 防災まちづくりに関する調査研究結果等の地域及び行政等への提言
- (6) その他、本会の目的達成のために必要な事項

～ 活動の紹介 ～

防災まちづくり談義の会

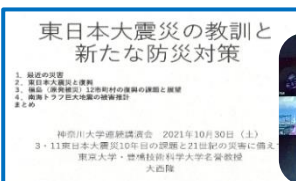


「防災まちづくり談義の会」（防災講演会）では、最新の災害課題に即応した多様な専門家の講演を受講することができます。（会員には、オンラインで情報がメール配信されます。）

会場＋リモート併用（ハイブリッド）形式講演会を実現

大学と連携したエクステンション講座

会員以外の皆様に受講していただく連続講座を展開しています。



神奈川大学エクステンション講座



「見えてきた地盤リスク」NHK 取材



J-DAG 訓練（城西大学）

被災地視察等調査研究



神戸 1.17



岐阜県根尾谷断層



広島県安佐地区土砂災害



宮城県女川市

被災地、関連施設、イベント等への参加や視察会を行ってきました。

「防災塾・だるま」ご入会のお誘い

「防災まちづくり」にご関心があり、本会の理念に賛同していただける方の入会を歓迎いたします。多様な専門家や他地域の仲間からの最新の防災情報を共有し、考え、つながり、共に防災力向上に向けて進みましょう。

会費	正会員	1,000 円	郵送会員	3,000 円（郵送費用含む）
	学生会員	免除	賛助会員	一口：5,000 円（一口以上）
申込方法	ホームページの入会申込フォームより、または「入会申込書」の送付でお申し込みください。			



「防災塾・だるま」（任意団体）

名誉塾長 荻本孝久（神奈川大学名誉教授）

塾長（代表） 鷺山 龍太郎

連絡先 「防災塾・だるま」ホームページ <http://darumajin.sakura.ne.jp>

「防災塾・だるま」入会（変更・退会）申込み・お問い合わせフォームから